



かながわ

# 議会だより

## 鎌倉市議会

〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号  
電話：0467(23)3000 内線 2448 FAX：0467(23)5825

鎌倉市議会ホームページ…………… [鎌倉市議会](#) [検索](#)

編集発行：鎌倉市議会広報委員会

平成25年5月臨時会（5月21日、22日）

6月定例会（6月5日～20日）

### 教育委員会の委員の選任議案2件に同意

#### ●定例会等の概要

- 5月臨時会では、議長・副議長の選挙を行ったほか、市長提出議案として、条例関係議案2件を可決、監査委員の選任議案1件に同意しました。
- 6月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。
- 市長提出議案として、条例関係議案10件、一般会計補正予算議案3件、その他議案2件を可決し、教育委員会の委員の選任議案2件に同意しました。
- 議会提出議案として「鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について」及び意見書1件を可決、陳情2件を採択しました。

#### ●定例会等の主な動き

- 5月臨時会/本会議（5/21）……………新役員の協議（4面）  
本会議・各常任委員会等（5/22）…新役員の決定、議案上程、採決（1・4面）
- 6月定例会/本会議（6/5～11）……………一般質問、議案上程、採決（2～4面）  
各委員会（6/12～19）……………議案・陳情審査等（3・4面）  
本会議（6/20）……………委員長報告、議案上程、採決（4面）

# 新たな任期をスタートさせた議員の顔ぶれ

～ 議員任期：平成25年5月15日から平成29年5月14日まで ～

委員会	各委員会の所属議員 (◎委員長 ○副委員長)	
総務常任	◎中澤 克之 竹田ゆかり 保坂 令子 山田 直人	○岡田 和則 河村 琢磨 永田磨梨奈
みらい常任 教育子ども	◎前川 綾子 上畠 寛弘 久坂くにえ	○納所 輝次 高橋 浩司 吉岡 和江
常任 観光厚生	◎三宅 真里 長嶋 竜弘 渡辺 隆	○西岡 幸子 日向 慎吾 渡邊昌一郎
建設常任	◎赤松 正博 千 一 小野田康成 松中 健治	○池田 実 中村聡一郎 大石 和久
議会運営	◎久坂くにえ 河村 琢磨 岡田 和則 小野田康成 赤松 正博	○納所 輝次 保坂 令子 前川 綾子 高橋 浩司 中澤 克之
議会広報	◎長嶋 竜弘 河村 琢磨 西岡 幸子 池田 実	○永田磨梨奈 保坂 令子 上畠 寛弘 吉岡 和江



【第19期議員と市長・副市長】

三留 定男 事務局長  
渡邊 昌一郎 議員  
赤松 正博 議員  
松中 健治 議員  
上畠 寛弘 議員  
三宅 真里 議員  
山田 直人 議員  
日向 慎吾 議員  
池田 実 議員  
大石 和久 副議長  
永田磨梨奈 議員  
西岡 幸子 議員  
中村聡一郎 議長  
河村 琢磨 議員  
久坂くにえ 議員  
松尾 崇 市長  
小野田康成 議員  
渡辺 隆 議員  
前川 綾子 議員  
瀧澤 申人 副市長  
保坂 令子 議員  
前川 綾子 議員  
竹田ゆかり 議員  
大谷 雅実 副市長  
納所 輝次 議員  
吉岡 和江 議員  
中澤 克之 議員  
岡田 和則 議員  
高橋 浩司 議員  
千 一 議員  
長嶋 竜弘 議員

#### 議長・副議長及び監査委員

議長・副議長の就任あいさつ  
このたび、改選後の5月臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。重責ですが、一所懸命に務めてまいります。

地方議会の改革はまだ道半ばであり、さまざまな指摘があることも事実でございます。そのような指摘にこたえるためにも、二元代表制における議会の役割を明確にし、その機能を発揮していかねばなりません。

前期に引き続き、今期においても議会改革に取り組み、市民の方々に信頼され、期待される議会になれるよう議員一丸となって努力してまいります。今後とも皆様方のご助言とご協力をよろしくお願い申し上げます。



中村聡一郎 市長



大石和久 副議長



山田直人 監査委員

市議会議員当選4回  
副議長、監査委員、議会運営委員会副委員長などを歴任  
(公派) 公明党鎌倉市議会議員団  
城廻 在任 53歳

市議会議員当選3回  
総務常任委員会委員長、建設常任委員会副委員長などを歴任  
(公派) 鎌倉みらい  
梶原 在任 58歳

# 一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、**6月定例会では17名の議員が一般質問を行いました。**ここでは広報委員会、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、8月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

## 子育て・保育

本市における子育て・保育について、次のような質問が行われました。

質問：鎌倉の子どもたちがどういうふうな育つてほしいのか、市長は、どのような理想を持っているか。  
市長：何よりも、自分のことより他人を思いやる心を持ち、かつ鎌倉の長い歴史の様々な先人の方々の思いや努力、そういうことを誇りに思いながら、次世代を切り開いていける大人になってほしいと思っています。

質問：市長は、子どもを育てていくには、今、鎌倉で何が足りないのか、また、今の世の中で何が足りないか。  
市長：市長は、子どもを育てていくには、今、鎌倉で何が足りないのか、また、今の世の中で何が足りないか。

質問：認可保育所は認可外保育施設より1年間程度で約2300万円多くなっている。この差額の大きな要因は、保育士の配置基準が違っていることによるものであるか。  
市長：認可保育所は認可外保育施設より1年間程度で約2300万円多くなっている。この差額の大きな要因は、保育士の配置基準が違っていることによるものであるか。

質問：待機児童対策について、全国的に横浜方式に倣っていき動きになっているが、本市は、何を学んで取り入れていくのか聞きたい。  
市長：本市は、何を学んで取り入れていくのか聞きたい。

質問：岡本保育園の建て替えとフラワーセンター苗圃跡地の状況はどうなっているか。  
市長：岡本保育園の建て替えとフラワーセンター苗圃跡地の状況はどうなっているか。

質問：津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

市長：足りないというより、必要と思うのは、鎌倉市のこと、地域のこと、人のこと、歴史・文化など多面的により深く知っていることが重要であり、人と人とのつながりがある、いつでも居場所があると思えることが、大事なことと

- 岡田 和則……「市長の政治姿勢」
- 前川 綾子……「鎌倉の未来を見据えて」
- 西岡 幸子……「女性の視点での防災対策」「新保育制度について」
- 池田 実……「まちづくりについて」
- 三宅 真里……「安心・安全なまちづくり」
- 長嶋 竜弘……「行政運営の新たな考え方と手法についてVol. 2」
- 吉岡 和江……「ごみ問題について」
- 上島 寛弘……「職員の人事・労務管理について」「公教育の在り方と青少年の健全な育成について」「事務に於けるコストコントロールについて」
- 納所 輝次……「安全・安心まちづくりの推進について」
- 保坂 令子……「情報公開の推進について」「防災対策について」
- 高橋 浩司……「世界遺産について」
- 千代田 一……「高齢者定期巡回型介護について」「重度訪問介護について」「子供達の通学路について」「ペットとの共生について」「どのような立場におかれている市民にも参政権を」
- 日向 慎吾……「地震・津波対策について」「住民基本台帳カードについて」
- 渡邊 昌一郎……「平成25年4月の市議会議員選挙について」「防災の取組について」
- 中澤 克之……「いじめ等について」「子ども達の環境等について」「市長の政治姿勢等について」
- 永田 磨梨奈……「風致地区における個人住宅の建設について」
- 小野 田康成……「災害発生時における諸対応について」「不動産の適正管理について」「災害発生時の障害者に対する諸対応について」

空き状況を紹介するなど、入所相談業務の充実を図っていききたい。  
質問：では、現在の待機児童対策としては何をやっていくか。  
市長：施設の改修等により、25年4月に130名の定員増を図った。また、認可外保育施設の認可化により、15名程度の増を見込んでいる。

質問：平成17年に示された保育園の民営化計画では、各行政区に市が運営する保育所を一つ残し、その他の保育所は民営化するという拠点園構想があるが、その方向性には変わりはないか。  
市長：平成14年の鎌倉市児童福祉審議会からの答申を踏まえ策定したが、平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の中で基本方針が国から示される予定であるため、その方針等も考慮しながら見直しについて検討したい。

質問：拠点園構想の下で現状の公立保育園の障害児保育は十分であるか。  
市長：保護者の希望で、民間の保育園を選ぶこともあるが、原則的には申請があれば受けている。

質問：戸別受信機活用が可能かを広げる工夫はあるか。  
市長：戸別受信機の有償配布は、予定台数1600台のうち、5月末現在で1525台が配布済みで、受信可能な地域で活用されている。今年度は戸別受信機難聴対策として、公共施設への外部アンテナの設置を予定している。

質問：今年3月に配布された津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：現在、旧鈴木邸・今井邸跡地の活用を考えている。同地は海拔10mであるため、待機児童対策はもちろんだ地域の津波避難ビルも視野に入れ民間活力の導入も含め検討している。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

## 防災対策

本市における防災対策について、次のような質問が行われました。

質問：防災行政用無線が届きにくい難聴地域の対策を教えてください。  
防災安全部長：スピーカーの向きや音量調整で改善される例もあるが、補完対策である消防テレホンサービス、防災安全メール、ホームページへの掲載、鎌倉FM緊急放送放送、鎌倉ケーブルテレビテロップ放送、戸別受信機（※）やNTTドコモのエリアメールなどの利用を合わせて案内している。

質問：戸別受信機活用が可能かを広げる工夫はあるか。  
市長：戸別受信機の有償配布は、予定台数1600台のうち、5月末現在で1525台が配布済みで、受信可能な地域で活用されている。今年度は戸別受信機難聴対策として、公共施設への外部アンテナの設置を予定している。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：現在、旧鈴木邸・今井邸跡地の活用を考えている。同地は海拔10mであるため、待機児童対策はもちろんだ地域の津波避難ビルも視野に入れ民間活力の導入も含め検討している。

質問：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。  
市長：津波避難経路の設置と津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

### 用語の解説

※印の用語について解説します。  
**戸別受信機（防災ラジオ）**  
各家庭で防災行政用無線を聴取できる受信機です。通常はラジオとして使用できますが、防災行政用無線が放送された場合、強制的に切り替わります。



### 津波避難経路路面シート

避難行動の目安となる沿岸部の道路に設置された避難方向を示したシートです。



### 都市マスタープラン

都市計画法に規定されている都市計画に関する基本的な方針のこと、長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現に向け、大きな道筋を明らかにしています。

本市では、平成10年から30年間を計画期間として定めています。

# まちづくり

本市におけるまちづくりについて、次のような質問が行われました。

質問：深沢のまちづくりについて、市はどのような拠点整備を想定しているのか。

拠点整備部長：第3次鎌倉市総合計画において、地域の歴史と文化を土壌とし、自然と融合する都市機能を備えた生活感覚を重視した都市拠点として、多様な都市機能の導入を検討しながら、21世紀にふさわしい都市拠点の形成に努めるものとしている。

質問：深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業の進捗状況と今後の計画は、どうなっているのか。

同部長：県警との交通に関する協議に時間がかかり計画が遅れているが、今年度中には都市計画決定を行い、事業認可手続きの準備に入りたい。また、今後は、まちづくりガイドラインを年度内に確定し、民間と事業者の募集選定に向けた検討を行う予定である。

質問：深沢のまちづくりに対する市長の見解は。

市長：本市の抱える少子高齢、公共施設再編などの課題を解決しつつ、第3の都市拠点の創出として、地区の活性化を図ってきたい。

将来の鎌倉を考えた場合、深沢地域の活性化は重要であり、本市の財政を支えていく意味でも、より一層力を入れて取り組んでいきたい。

質問：防犯灯のLED化を推進するに当たり、今後のあり方について市長の見解は。

市長：LEDは環境に優しく消費電力も少ないことから市の財政負担軽減にも役立つと考える。防犯灯のLED化を推進するに当たっては、地域防犯力や体感治安の向上といった視点も重要であり、地域の意向を踏まえ検討していく。

質問：都市マスタープラン（※）の見直しの中で、風致地区制度の在り方を含め、市街化区域、市街化調整区域など、市の土地利用の方向性も見直ししているのか。

まちづくり景観部長：都市マスタープランは、今年度から来年度にかけて見直し、この中で、土地利用の在り方も含め市民意見や専門的意見も聞きながら、幅広く検討・議論していくことが必要であると認識している。

質問：市街化調整区域の建築や造成の規制を他都市に先立ち、本市で先進的に取り組み、発信していくことは可能か。

市長：建築や造成の規制は、現行法制度の中で適正に執行されている。しかし、今後新たに制定する風致地区条例により質の高い緑化の誘導を行うとともに、都市計画法等の趣旨や規定を踏まえつつ本市独自の開発許可基準の制定の可能性も含めて検討していきたい。

# ごみ問題

本市におけるごみ問題について、次のような質問が行われました。

質問：ごみ処理基本計画の再構築案が出されたが、どのような方法で、平成27年度までにごみ減量の目標を達成させるのか聞きたい。

環境部長：平成27年度までにごみ減量の目標を達成させるために、家庭系ごみの部分では、戸別収集有料化の実施、事業系ごみの部分では、ごみ投入前の調査や手数料の値上げ、小規模施設による減量効果、多量排出事業者への資源化の要請等に対応していく。

質問：これまでの分別・資源化によるごみの減量は市民が本当に努力してきた結果であり、ゼロ・ウェイ

ストで頑張るといふ精神が全体の政策につながっていくと思う。本市は減量化でトップクラスである中、多大な税金を使う戸別収集有料化の効果も果たしてあるのか聞きたい。

市長：減量化という意味では本市はトップクラスではないと思っており、そういう意味で、まだまだ発生抑制を図っていかねばならないと思う。戸別収集有料化は、先般モデル地区を指定し実施した結果、約1割の削減効果が出ている。この結果からもこの施策をしっかりと実施し、減量の効果を出していきたい。

質問：過去、本市でごみ半減計画を進めたとき、ダイオキシン対策の関係から焼

却施設の1つを停止させる決定をした。そのような状況下、計画達成のため、市民と事業者が分別・資源化をお願いしたが、達成できずにならぬと、今と同じように再構築案としてごみの有料化、発生抑制、手数料の見直しを提案したという経緯がある。そのときは、非常事態宣言まで出した。その状況をどう受け止めるのか。

市長：施設をつくらないという部分は共通しているが、その他の状況や背景等は当時と全く違っており、本市が進める計画については、着実に進めていくことができると思っている。

質問：過去の計画に対する反省や、有料化・戸別収集を行わずに市民と事業者が分別・資源化で頑張ってきたという教訓を学ぶべき

市長：施設をつくらないという部分は共通しているが、その他の状況や背景等は当時と全く違っており、本市が進める計画については、着実に進めていくことができると思っている。

質問：過去、本市でごみ半減計画を進めたとき、ダイオキシン対策の関係から焼却施設の1つを停止させる決定をした。そのような状況下、計画達成のため、市民と事業者が分別・資源化をお願いしたが、達成できずにならぬと、今と同じように再構築案としてごみの有料化、発生抑制、手数料の見直しを提案したという経緯がある。そのときは、非常事態宣言まで出した。その状況をどう受け止めるのか。

市長：施設をつくらないという部分は共通しているが、その他の状況や背景等は当時と全く違っており、本市が進める計画については、着実に進めていくことができると思っている。

質問：過去、本市でごみ半減計画を進めたとき、ダイオキシン対策の関係から焼却施設の1つを停止させる決定をした。そのような状況下、計画達成のため、市民と事業者が分別・資源化をお願いしたが、達成できずにならぬと、今と同じように再構築案としてごみの有料化、発生抑制、手数料の見直しを提案したという経緯がある。そのときは、非常事態宣言まで出した。その状況をどう受け止めるのか。

市長：施設をつくらないという部分は共通しているが、その他の状況や背景等は当時と全く違っており、本市が進める計画については、着実に進めていくことができると思っている。

## 可決した意見書

議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、地方公共団体の公益に関することについて、意見書を国会または関係行政庁に提出することができます。今定例会では次の意見書を可決し、鎌倉市議会として関係機関に送付しました。

### 神奈川県最低賃金改定に関する意見書

我が国における働く者の雇用と生活は、所得の低迷や格差拡大に歯止めがかからず、非正規労働者は全雇用者の35%を上回り、年収200万円以下で働く労働者（いわゆるワーキングプア）は1,100万人近くに及んでいる。みずから生計を維持している労働者層へも非正規労働が拡大しており、地域別最低賃金制度の役割は重要になってきている。

また、国においては、平成25年度から生活保護基準を引き下げる一般会計予算が編成された。平成25年度の地域別最低賃金改定に当たっては、平成19年施行の改正最低賃金法及び平成22年の雇用戦略対話合意の見直しについても適切な対応を求め、生活保護基準の引き下げが他の制度に波及し「貧困の連鎖」を引き起こさないようにしなければならない。

一方、特定（産業別）最低賃金は、地域別最低賃金と別の役割を果たす位置づけとして、当該産業の労働条件の向上または事業の公正競争の確保の観点から、地域別最低賃金より金額水準の高い最低賃金を必要と認め関係労使の主導により設定するものであり、かつ、地方最低賃金審議会での審議は、労使協議を補完・代替する役割を担っている。近年、地域別最低賃金の上昇もあり、特定（産業別）最低賃金の改定に当たっては、必要性審議において「必要あり」に至らないケースが発生しており、平成25年度の特定（産業別）最低賃金の改定に当たっては、その役割を果たすために、関係労使の主導を尊重した必要性審議が行われることが重要である。

よって、国におかれては、平成25年度の神奈川県最低賃金の諮問・改定に当たっては、次の事項を実現されるよう強く要望する。

### 記

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。
- 2 地域別最低賃金の改定に当たっては、平成21年度の神奈川県最低賃金審議会が公労使が結審した「生活保護との整合性」を図る観点から、生活保護との乖離解消を本年度で実現すること。
- 3 特定（産業別）最低賃金の改定に当たっては、当該産業の労働条件の向上または事業の公正競争の確保の観点から、地域別最低賃金より金額水準の高い最低賃金の必要性を認め関係労使の主導により設定し、地方最低賃金審議会における必要性審議に当たっては、従来の労使代表による本審だけでなく、当該産業別の労使が入った審議の必要性も検討されたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年6月20日

鎌倉市議会

## 陳情の議決結果

### 【採択した陳情】

◆市議会における個々の議員の賛否等を公表することについての陳情

### 陳情の要旨

市議会における各議案の議決結果について、個々の議員の賛否を、公表してほしいというもの

委員会及び本会議の審議結果委員会、本会議ともに総員により採択

◆神奈川県最低賃金改定に関する意見書提出についての陳情

### 陳情の要旨

今年度の神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと等、国に対し意見書を提出してほしいというもの

委員会及び本会議の審議結果委員会、本会議ともに多数の賛成により採択

## 鎌倉市議会からのお知らせ

◆かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内  
「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版（収録テープ）と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

◆請願・陳情の出し方  
市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局議事調査担当までお問い合わせください。

提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査、期限を過ぎての提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局 議事調査担当  
電話：0467-23-3000 内線2448  
FAX：0467-23-5825  
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

## 本会議・委員会映像公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。（録画映像も見ることができます。）



鎌倉市議会ホームページはこちら！

鎌倉市議会 検索 または、<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/>

各会派所属議員

(○印は代表者、括弧内の表記は略称)

議決された主な議案

○賛成 ●反対 ※出席者あり

**鎌倉夢プロジェクトの会 (鎌夢会)**  
○高橋 浩司、日向 慎吾、永田 磨梨奈、小野田 康成

**みんなの鎌倉 (みんな)**  
○久坂くにえ、中村 聡一郎、河村 琢磨、渡辺 隆

**公明党鎌倉市議会議員団 (公明党)**  
○納所 輝次、西岡 幸子、大石 和久

**鎌倉みらい (鎌倉みらい)**  
○前川 綾子、池田 実、山田 直人

**自由民主党鎌倉市議会議員団 (自民党)**  
○中澤 克之、上島 寛弘、渡邊 昌一郎

**日本共産党鎌倉市議会議員団 (日本共産党)**  
○吉岡 和江、赤松 正博

**公正、公平、透明な政治を実現する会 鎌倉 (実現する会 鎌倉)**  
○岡田 和則、長嶋 竜弘

**神奈川ネットワーク運動・鎌倉 (神奈川ネット鎌倉)**  
○三宅 真里、坂本 令子

---

**無所属**  
松中 健治、千 一、竹田 ゆかり

---

※会派は、政策を中心とした同一の理念を共有する2人以上の議員で構成されます。本市議会では、会派に属する議員は、代表質問を行ったり、議会運営委員会の委員となり、議会運営に関する協議を行うことができます。

議案	議決結果	会派名							無所属
		鎌夢会	みんな	公明党	鎌倉みらい	自民党	共産党	神奈川ネット鎌倉	
条例	第6号 鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例の臨時特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	第7号 鎌倉市子ども・子育て会議条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	第8号 鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	第16号 平成25年度鎌倉市一般会計補正予算(第1号)(保育園耐震改修等に係る経費の増額等)	○	○	○	○	○	○	○	○
	第17号 平成25年度鎌倉市一般会計補正予算(第2号)(企画総合計画の経費の増額)	○	○	○	○	○	○	○	○
	第20号 平成25年度鎌倉市一般会計補正予算(第3号)(議員報酬及び手当の減額)	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	第18号 鎌倉市教育委員会の委員の選任について(安良岡靖史氏の選任)	○	○	○	○	○	○	○	○
	第19号 鎌倉市教育委員会の委員の選任について(齋藤千歳氏の選任)	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案	第1号 鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○
	第3号 子宮頸がん予防ワクチン接種事業の検証と副反応被害者への救済を求める意見書の提出について	○	●	●	●	※	●	○	○

議員個人の賛否については、議会事務局へお問い合わせください。

5月臨時会  
5月21、22日に開催

議会新役員決定

任期満了に伴う市議会議員選挙が4月21日に行われ、26名の新しい議員が選出されました。

これに伴い、5月21、22日の両日にわたり、改選後初の議会となる臨時会が開催され、議長・副議長の選挙が行われました。

選挙の結果

【議長選挙】  
中村聡一郎議員 24票  
無効票(白票) 2票

【副議長選挙】  
大石和久議員 26票

選挙の結果、議長に中村聡一郎議員、副議長に大石和久議員が選出されるとともに、議会選出の監査委員として山田直人議員が選任されました。また、あわせて各常任委員会、議会運営委員会などの委員構成が決定しました。

6月定例会

今定例会では、議員から3件の市長から17件の議案が提出されました。主な議案の内容及び議会における議決結果は次のとおりです。

《議員提出議案》

鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議会の立場から、前任期の意思を引き継ぎ今任期において、平成26年7月末までの間、市議会議員の報酬月額等について5・6%の削減を行うものです。

《市長提出議案》

鎌倉市子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援施策の推進に係る必要な事項等の調査・審議を行うため、鎌倉市子ども・子育て会議を法の規定に基づき設置し、必要な事項を定めようとするもので、本年7月1日から施行しようとするものです。

《条例関係議案》

鎌倉市子ども・子育て会議条例の制定について

子ども・子育て支援施策の推進に係る必要な事項等の調査・審議を行うため、鎌倉市子ども・子育て会議を法の規定に基づき設置し、必要な事項を定めようとするもので、本年7月1日から施行しようとするものです。

月1日から施行しようとするもので、

《補正予算議案》

一般会計補正予算(第1号)

保育園の耐震改修等に係る経費、深沢子ども会館の建て替えに伴う解体工事費などの追加をしようとするもので、歳入歳出ともに1億9790万円を増額し、補正後の総額は582億7990万円となります。

《補正予算議案》

一般会計補正予算(第2号)

先導的官民連携支援事業として実施する、鎌倉市地域経営型PPP事業に係る経費の追加をしようとするもので、歳入歳出ともに900万円を増額し、補正後の総額は582億890万円となります。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

《教育委員会の委員の選任》

任期満了に伴い昨年10月から空席となっていた教育委員会の委員2名の選任議案が提出され、次の方について同意しました。

安良岡 靖史氏 (前稲村ヶ崎小学校校長) 齋藤 千歳氏 (聖ヨゼフ学園小学校非常勤指導主事)

《市議会議員在職20年表彰》

5月22日に開催された、全国市議会議長会から議員在職20年表彰を受章された。

また、前議員の伊東正博さん、小田嶋敏浩さんにおかれましては、同じく議員在職20年以上特別表彰を受章されました。

全員協議会

「武家の古都・鎌倉」のイコモス入館券に係る対応について

世界遺産登録に関して、5月27日に議会全員協議会を開催し、市長から報告を受け、質疑を行いました。報告の概要は次のとおりです。

4月30日にユネスコ世界遺産センターの諮問機関であるイコモスから、現在の構成資産では物的証拠が不十分であるため、不記載が適当との報告があった。本市としては将来登録を実現する最善の道は、いったん推薦を取り下げて再挑戦を目指すことと考え、そのためにも今後は報告で提起された課題をクリアすべく、次の取り組みを三つの柱とし、その実現に向け、国・県と緊密な連携をとりたい。

①埋蔵文化財の調査・研究などの歴史的遺産を守るための取り組み  
②歴史的風土特別保存地区をはじめとした緑や景観を守る取り組み  
③渋滞対策など市民の暮らしを守る取り組み

編集後記

4月の改選から定数が2削減された26名での議会構成となりました。自治体における議員の適正な数については様々な議論があるかと思いますが、その値は議会の改革度合を推し測る「見える」物差しの一つではないでしょうか。

これまで議決の結果は会派名のみ公表でしたが、6月議会からは議員個人の行動結果を公開することになりました。

議会広報委員会

- 委員長 長嶋 竜弘
- 委員長 永田磨梨奈
- 委員 河村 琢磨
- 委員 保坂 令子
- 委員 西岡 幸子
- 委員 上島 寛弘
- 委員 池田 実
- 委員 吉岡 和江